

令和7年度 静岡県立浜松大平台高等学校 第3回学校運営協議会 議事録

1 日 時

令和7年11月25日(火) 午後1時30分から3時30分まで

2 会 場

静岡県立浜松大平台高等学校 会議室

3 参加者

- (1)学校運営協議会委員 5名
- (2)浜松大平台高等学校職員 9名

4 内 容

- (1) 校長挨拶
- (2) 全日制猿投祭報告(動画視聴)
- (3) 定時制連綿祭報告(動画視聴)
- (4) 近況報告(全日制・定時制)
- (5) 意見交換
- (6) 協議 学校経営計画書(定時制)について
- (7) その他

5 今後の予定

第4回 学校運営協議会(2月3日(火) 午後1時30分から3時30分まで)

学習発表会(全日制1/30(金)) 報告等、令和7年度学校評価・質疑応答

委員より

- ・文化祭は昔から変わらない内容も多いなかで、ステージ発表でのダンスの盛り上がりが目を引いた。ダンスが現代の求心力を持った文化になっていることを改めて感じた。
- ・文化祭に訪れた際、すれ違った生徒がみんな挨拶をしてくれた。生徒の活発で生き生きした姿が印象的だった。
- ・自分たちが選択した学びをベースに、展示を作り上げる困難さや、完成したときの喜びが生徒にとっての自信になる。学校の良さが地域に伝わり、近隣の中学生にとっても視野が広がる有意義な行事になっている。
- ・定時制の文化祭は、校内発表のみだが、生徒がこんなにもしっかりとやれるということを、保護者や地域の方に見てもらいたい。また、生徒もPTAも、全定共通で実施できる部分があるとよい。
- ・全日制は、ユニークなビジネスモデルに数多く取り組んでいるので、起業など、特色ある学びを活かした進路選択も可能なのではないか。
- ・全日制の総合学科のカリキュラムで、生徒が自ら選択し、様々な体験をすることは、就職に直結しなくても、生きる糧になる。定時制の生徒も、様々な特性の生徒が、先生方の心強い支援を受けながら、自分自身で科目選択する経験は貴重である。
- ・大平台小学校は、外国籍の児童が多いので、進路選択を考える上で、定時制の生徒と交流できる場が設けられたらいい。
- ・定時制の学校経営計画書の改訂について、グラデュエーションポリシーの「自主的に学び」の表現は、スクールミッションの「新しい自分の発見」の趣旨に合わせると、「主体的に学び」の方が適切である。